

2年C組 道徳 学習指導案

指導者 宮本 真人

- 1 時間(場所) 10:00~10:50 (2年C組教室)
- 2 主題 人間の力を超えた自然の力を見直そう〔自然愛護〕
- 3 資料名 「夕日を見ているか？」(AKB48) 作詞 秋本 康 作曲 岡田実音
「RPG」(SEKAI NO OWARI) 作詞 Saori・Fukase 作曲 Fukase

4 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

「青少年の体験活動等に関する実態調査」(平成26年度 国立青少年教育振興機構)によると自尊感情(自己肯定感)関わる現状について、小学校4年生から学年が上がるにつれて「高い」「やや高い」の割合の合計は低くなり、特に中学校2年生で急激に落ち込むという調査結果が出ている。小学校4年生でピークを迎える自尊感情も徐々に思春期に入ると様々な不安や悩みに押しつぶされて自信をなくすことが多くなるということである。このことは、「生徒理解のための調査 Multi (マルチ)」(大阪心理出版)による本校生徒の実態調査でもあらわれている。昨年度の卒業生も一昨年度の卒業生も、不安感が高くなるなど自尊感情に関わる項目が一番落ち込んだのは、やはり中学2年時であった。

人間は誰しも自然のすばらしさを感じることによって、自分の悩みや不安感が癒やされたり、困難に立ち向かおうとする勇気を得たりしたような経験をもつ。これは、人間が自然と関わっていく中で、自然のもつ力のすばらしさを感じ取り、自らの生きる力へと変えているからであろう。悩みや不安の多い中学校2年生のこの時期だからこそ、自然のもつ力のすばらしさを自覚した経験を振り返らせ、人間の力を超えた偉大な自然の力を再認識させたい。このことにより、自然との心のつながりを見いだしともに生きていこうとする意欲の高まりにつながれると考え、本主題を設定した。

(2) 生徒の実態について

本学級の生徒は、規律ある学校生活を送っており、どの教科の授業も明るく支持的な雰囲気の中で学習を進めることができている。道徳の時間においては、学級全体での話合いの場面において、問いの質によっては自分の考えや意見を表出しようとする生徒が少なくなることもあるが、小集団やペア学習では、多様な価値観を全員の生徒が積極的に出し合いながら、意欲的に学習を進めることができ、学習効果を上げている。本時の主題と関わる学校行事(遠足や石鎚登山、スキー実習)では、仲間と共に力を合わせたことや目標を成し遂げたことを自覚するとともに、多くの生徒が自然と触れ合ったことへの喜びや自然の偉大さを素直な気持ちで表現している感想を述べている。また、本学級の生徒は全員、学級で育てている「学級樹」をととても大切に思うことを価値としており、その雰囲気が学級を包み、自然とともに生きることの良さを、日頃の生活の中で実感している。

(3) 資料について

「夕陽を見ているか?」は、AKB48の初期(2007年)の曲である。現在、オリコン順位で1位が当たり前になっているAKB48ではあるが、この曲は当時10位であった。曲中の「楽しいことが勝ち越せばいい」「今を受け入れること進むこと」「失うことは何かをいつか必ず手に入れられること」などのフレーズは、初期から順風満帆ではなかったAKBだからこそ説得力がある。売れない時期を受け入れて、なお進んだ時期があったからこそ全盛期が生まれたことを物語る。秋本氏自身もこの時期までに数々の企画を成功させてはきたが、それがゆえに、大いに批判されていた時期でもあった。秋本氏はこの曲について、「(なかなか軌道にならないAKBのメンバーを含めた)人を励ます曲であるが、それは私自身へ『どうして自分のことを誉めてあげないのか』との励ましでもあった」と語っている。

「RPG」は、Fukase氏とSaori氏が解散を考えるほどの大ゲンカをしたときに生まれた曲であり、ボーカルのFukase氏が過去に入院していた精神科の閉鎖病棟で「僕の世界が終わった」と絶望していた中で差した一筋の光(音楽と今のバンドのメンバー)とともに見た風景がもとに

なっている。このときの二人のケンカは、後にFukase氏が「あのとき僕は、何のために音楽をやっていたのか忘れてしまっていたのかも知れない」と話すくらいに「SEKAI NO OWARIにとって大きな試練」であった。そんな試練から、もう一度SEKAI NO OWARIとして頑張っていこうという決意をして誕生した「RPG」からは、Fukase氏とSaori氏の自然の風景とともによみがえった音楽やメンバーへの溢れる気持ちが、はっきりと伝わってくる。

いずれの曲も「自然」から得たエネルギーを見事に表現しているものであり、効果的に活用することにより、生徒の経験を想起させ、自らの道徳的価値への自覚を深め、これからの生き方を考えさせていくことができるものである。

5 本時の指導

(1) ねらい

自然環境を大切にすることの意義を理解し、自然とともに生きていこうとする心情と進んで自然の愛護に努めようとする意欲を高める。

(2) 指導の工夫

導入は「悩みをどうやって乗り越えてきたか」の発問により、一般的な悩みをみんながもっていること、及び、だれにでもそれを乗り越える力と手段をもちあわせてことを共有させる。その中の一つに「自然」を利用することがあることと併せて、遠足、石鎚登山研修、スキー実習等、自然を生かした学校行事の体験を想起させることにより、人間と自然はともに生活していること、及び、自然は人間にとってかけがえのないものであることを自覚させる。

資料は、自然からの恵みとその経験を想起させる「夕陽を見ているか」を中心的に扱い、そこから問題解決的な学習に取り組みさせていきたい。具体的には、学級で「私たちの悩みを癒やしたり、困難に立ち向かう力を与えてくれたりする、ナンバーワンの自然を選ぶ」という活動である。これを通して、各自がその自然を選んだ理由の中に含まれる「自然愛護」についての多様な価値観に触れさせていきたい。これらの価値観から価値の自覚を深めさせる。終末では、生徒に人気の高いアーティストの「RPG」を聴くことをきっかけに、作詞者と自然との関わりについての説話を共感的に聞かせ、ねらいである道徳的心情や意欲の高まりに迫りたい。

(3) 評価について

本校の研究主題及び教育目標及び研究主題を踏まえ、「内容項目D(20) 自然愛護」について、3年間を通して、すべての生徒を次のような【本質的な問い】に対応する【永続的な理解】にたどり着かせたいと考えている。

【本質的な問い】

持続可能な社会の実現に向け、現在及び未来の自然環境の課題を解決するためには、何が大切か。

【永続的な理解】

自然の中で生かされている私たちは、自然に対して謙虚に向き合い、生きとし生けるものに対する感謝と尊敬の念を抱くとともに、自然の生命を感じ取り、自然との心のつながりを見いだして共に生きようとするのが大切である。

これを達成するため、【本時で目指す生徒の姿】を基に、生徒の態度や発言内容、ワークシートの記述内容を通して、生徒の道徳性に係る成長の様子を捉え、生徒自身が本時で理解した価値を自己の生き方に生かすことができるように、今後の成長を見守っていきたい。

【本時で目指す生徒の姿】

理解する段階	自分との関わりを考える段階	自分の生き方に生かす段階
自然の中で生かされている人間が、自然に対して謙虚に向き合うことの大切さを理解している。	環境保全についての意識を高めるとともに、自然との心のつながりを見いだして共に生きようとする意欲が高まっている。	様々な環境保全活動に参加したり、その考え方に共感し、自分のできる限りで、積極的に貢献したりしようとする。

(4) 展 開

学習活動（形態）	時間	○教師の働きかけ・予想される生徒の反応	○指導の工夫 ◇評価（方法）
1 悩みの克服について、これまでの経験を思い起こさせる。 （一斉）	5	○辛いとき、苦しいとき、どうやって乗り越えてきましたか ・友人に相談する ・音楽を聴く ・好きな風景を眺める	○乗り越えた経験を共有させることにより、誰にでも悩みや困難を克服していこうとする前向きな気持ちがあることに気付かせる。
2 本時の学習課題を知る。 （一斉）	2	○私たちが癒やしたり勇気づけたりする自然の力について考えよう。	○本時の学習についての関心を高めるために、学校行事等、自然との体験を想起させる。
3 「夕陽を見ているか」を聴き、話し合う。 （一斉）	10	○歌を聴いて、どんなことを感じたか。 ・私も、自分をもっと褒めてあげたいと思う。 ○この歌では、辛さをどのように乗り越えているだろうか。 ・夕陽を沈む空を見ること ・季節の風を感じたり、足下の花に気付くこと	○資料を共感的に読み取らせるために、歌詞の中で表現されている悩みや辛いことに目を向けさせ、同じような思いを振り返らせる。
4 最も私たちが癒やしてくれたり勇気づけてくれるたりする自然の世界のものを出し合い、共有する。 （個人） ↓ （小集団） ↓ （全体）	20	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">夕陽の他に人間の悩みを超越するような自然の世界はないだろうか。</div> ○悩みを癒やしてくれたりたり、勇気づけてくれるたりする自然の世界のものを出し合おう。 ・満天の星 ・広い海 ・青い空 ・色鮮やかな珊瑚礁 など ○その中からナンバーワンの存在を決定しよう。 ○ナンバーワンの決定に当たり、意見が分かれたときは、ナンバーワンである理由を吟味し、みんなが納得できた理由からナンバーワンを決めよう。	○ナンバーワンに選んだ理由の中に含まれる多様な価値に触れさせるために、問答ゲームの型を用いて、小集団での学習を進めさせる。【協同】 ○価値観の共有を図るため、自分の価値観と友達の価値観を比較して思ったことや感じたことを話し合わせる。
5 人間が自然を破壊する理由を考察する。 （一斉）	5	○人間に力を与えてくれる自然を、なぜ、人間は破壊するのだろうか。 ・自然の偉大さを忘れ、そのときだけの便利な生活を求めるから	○学習活動5において深く考察させるために、自然の力を感じられることに人間のすばらしさがあることに触れる。
6 「RPG」と教師の説話を聞き、本時の学びを振り返る。（個人）	8	○本時で、どのような気持ちが高まっていますか。高まった気持ちをこれからの生活にどう生かしますか。	◇環境保全の大切さを実感し、そのために積極的に行動しようとする決意が表現されている。
授業研究の視点	学習活動4の（協同）の学びは、道徳的価値の自覚を促し、生徒一人一人の道徳的心情や実践意欲の高めるために効果的な学習活動であったか。		

参考文献：柴田 克（2014年）「J-POPで創る中学道徳授業」明治図書